

信大× SBC防災減災プロジェクト

冬の防災・救命救急

第6回 防災市民シンポジウム
- 寒中の「もしも」に備えよう -

参加
無料

2018年

日時

2月3日(土) 13:00-16:30 (受付12:45)

場所

ホテル国際21 芙蓉(2階) 長野市県町576(長野県庁向かい)

身体メカニズムを知ること、日常だけでなくスキーや登山の際の緊急時の対策は大きく異なります。さらに冬の救命救急の現場を知ること、いざという時の安心につながります。この機会に冬の防災について考えてみませんか。

開催概要

信州は一年で寒さが最も厳しい時期を迎えました。今年の冬は、地球規模の海水温の変動もあって平年よりさらに寒くなることが予想されています。そして、この厳しい寒さは冬に特有の災害を引き起こします。

冬期の大きな災害といえば山間部の雪崩や遭難など、さまざまな豪雪被害が思い浮かびますが、昨年大雪による人的被害の七割は除雪や雪下ろし中の事故が占めていました。さらには、落雪や倒壊家屋による怪我、凍結による転倒やスリップなど、凍結や雪に関連した危険は身の回りに潜んでいます。

また、冬季には夏とは異なる様々な傷病が発生します。家庭内での急な温度変化が引き起こす脳卒中や心筋梗塞がよく知られていますが、他にもカイロなどで発生する低温やけど、暖房機器による一酸化炭素中毒など様々なものがあります。まだまだ寒さが続く中、身近でこうしたケガや病気が発生したときに、救急車の到着までにある程度対応することができれば、その後の回復に大きなプラスになることは言うまでもありません。

今回のシンポジウムでは、緊急時の医療の専門家が登壇して、こうした冬期の災害の備えについてわかりやすく説明いたします。これらを通して、私たちの身体のメカニズムと冬の救命救急の現場を知り、いざという時の安心を得ていただきたいと思います。



信州大学地域防災減災センター長
菊池 聡 (きくち さとる)

講演者



大橋 俊夫 (おおはし としお)

信州大学医学部特任教授。1949年、茨城県生まれ。
74年、信州大学医学部医学科卒業。医学博士。
英国ベルファストクイーンズ大学講師(生理学)をへて、85年、信州大学医学部教授。現在、信州大学医学部特任教授(メディカル・ヘルスイノベーション講座)。
2001年より日本リンパ学会理事長を務め、本邦におけるリンパ学研究の推進に専念。03年より5年間、信州大学医学部長。06～08年、全国医学部長病院長会議会長。



今村 浩 (いまむら ひろし)

信州大学地域防災減災センター医療支援部門部門長。信州大学医学部教授。
横浜市立大学 昭和62年卒 日本救急医学会救急科専門医・指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医



横山 俊一 (よこやま しゅんいち)

信州大学 地域防災減災センター 研究員。
秋田市出身。専門は環境地理学。環境系コンサルタント会社、小学校社会科専科・高校・高専・大学非常勤講師、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員を経て現職。現在は防災研究のアウトリーチを中心に活動を行っている。



司会

生田 明子 (いくた あきこ)

SBCアナウンサー

全体スケジュール

12:45

受付開始

13:00 - 13:05

開会挨拶

信越放送株式会社 取締役 情報センター長 長岡 克彦

13:05 - 13:15

趣旨説明

信州大学地域防災減災センター研究員 横山 俊一

13:15 - 14:15

「家庭内災害を防ぐために体のしくみを学ぼう」

信州大学医学部特任教授 大橋俊夫

14:30 - 15:30

「冬季における救命救急の課題」

信州大学地域防災減災センター医療支援部門長 今村 浩

15:30 - 15:50

休憩・質問用紙記入

15:50 - 16:25

全体討論

進行：信州大学地域防災減災センター長 菊池 聡

16:25 - 16:30

閉会挨拶

信州大学地域防災減災センター長 菊池 聡

展示

災害時に役立つ製品や救命救急の現場で使われる機材の展示も予定しております。

お問合せ

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学地域防災減災センター(三浦・横山)

電話：0263-37-2064 Mail: d_map@shinshu-u.ac.jp

参加無料・申込不要ですが、事前登録していただくと当日受付がスムーズです。
ご希望の方は【FAX】または下記【QRコード】にてお申込ください。

フリガナ

①お名前

③お住まいの地域
(市町村まで)

④ご連絡先
(電話番号またはメールアドレス)

②参加人数
(ご本人含む)

人



QRコード

【FAX】0263-37-2076